

特定健診等受診勧奨事業の 取り組みについて

平成30年2月2日
富山県在宅保健師らいちょう会



富山県の状況

人 口 106万1,363人

世帯数 39万5612世帯

高齢化率 30.8%

特定健診受診率

43.0%(市町村国保)

特定保健指導終了率

24.6%(市町村国保)

特 徴

健診結果: **メタボ該当者全国11位、血糖値4位、中性脂肪8位**
(H26年度全医療保険者)

活動の実態: 1日の歩数(全国女性25位・男性26位)

食の実態: **全国1位(さしみの盛り合わせ、昆布、佃煮、オレンジ)**
全国2位(もち、惣菜セット、カツカツ、プリン、アイスクリーム
ソフトクリーム、コーヒー、ココア、ジュース)

全国3位(かまぼこ)

全国4位(カップ麺、カレールウ、ふりかけ、天ぷら、フライ)

全国5位(なし、清酒)

全国6位(すし、米、)

ベスト10以内(麺類、加工肉、みそ、調理パン、せんべい)

生野菜摂取量全国29位



(人口・世帯数・高齢化率: H28年10月1日現在
特定健診受診率・特定保健指導終了率: H28年度法定報告)

(H26年度総務省家計調査)

富山県在宅保健師らいちょう会

目 的

県内に在住する在宅保健師が、会員相互の親睦を図るとともに、地域における保健活動の重要性を認識し、経験に基づき地域の保健活動に寄与する。

設 立

平成9年10月

会 費

2,000円/年間

会員の状況

会員数：68名 平均年齢：67.4歳

| 年代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 合計 |
|--------------|----------------|------------------|------------------|----------------|----|
| 会員数 (%) | 1 (1.5 %) | 43 (63.2 %) | 22 (32.4 %) | 2 (2.9 %) | 68 |

(平成30年1月現在)

主な活動内容

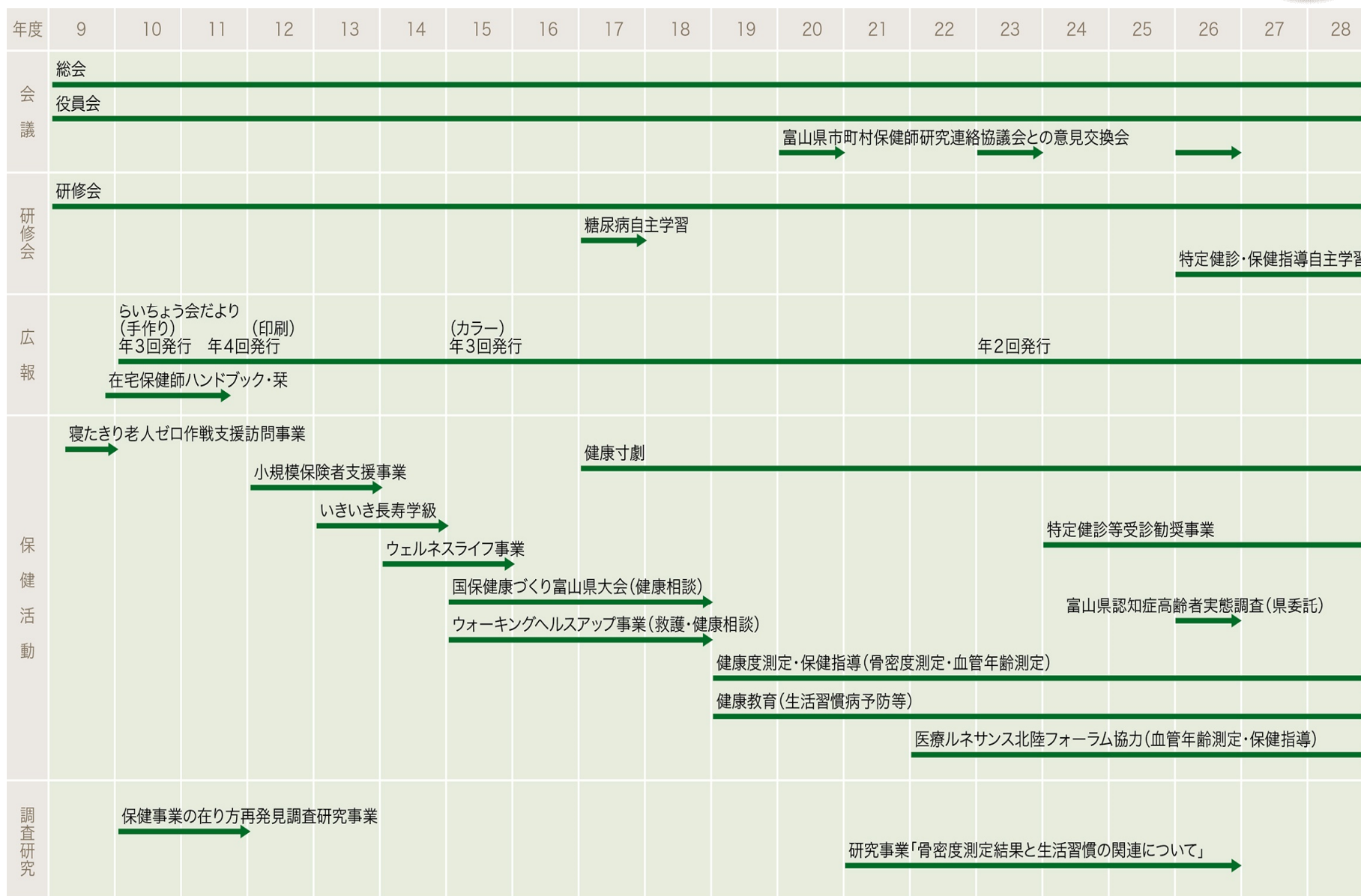
1. 特定健診等受診勧奨事業
2. 健康度測定と保健指導



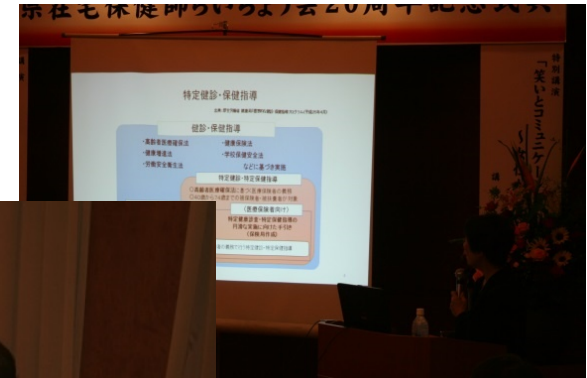
3. 健康寸劇
4. 健康教育
5. 広報活動
6. 研修会



20年のあゆみ



創立20周年記念式典の開催 (H28.10.15)





特定健診等受診勧奨事業



目 的

特定健康診査等基本指針において、国が示す平成29年度における市町村国保特定健診・保健指導実施率の目標値は、それぞれ60%である。

富山県市町村国保の平成27年度健診実施率42.9%保健指導実施率25.0%(速報値)であり、今後さらに実施率の向上を図ることが重要となる。

富山県在宅保健師らいちょう会会員が特定健診及び保健指導対象者に対し、自ら健康管理を行うことの重要性の理解を図りながら、特定健診・保健指導の受診及び利用勧奨を行うことによって、生活習慣病等の予防を推進すると共に、市町村国保の健診・保健指導実施率の向上ひいては医療費の適正化に寄与する。

事業内容

特定健診未受診者等受診勧奨
特定保健指導対象者利用勧奨
その他目的を達成するために必要な事項

実施主体

市町村
在宅保健師らいちょう会
国民健康保険団体連合会



受診勧奨対象者




特定健診対象者等及び特定保健指導対象者のうち、
実施主体三者で協議し、決定した者

実施方法

| | |
|-----|---------------------------------|
| 時 期 | 8月～翌年3月 |
| 場 所 | 市町村役所内会議室 保健センター事務室、相談室・健診室等 |
| 時 間 | 2部制（12時～16時、16時～19時30分） |
| 人 数 | 各部1～2名 |



実施事業における役割

-  らいちょう会 電話勧奨者連絡先台帳の作成(電話番号調べ)
電話勧奨の実施
事業実施後結果の取りまとめ
-  国保連合会 受診勧奨対象者の選出・名簿の作成
事前説明会・事後連絡会の開催
事業実施に関する調整
事業実施に必要な諸経費の負担
-  市町村 電話勧奨を行う場所の確保
折り返し電話等の対応
会議室・電話使用料の負担

個人情報取り扱い

本事業に携わる中で知り得た個人情報は、個人情報保護の重要性を認識し、事業実施期間中はもとより、事業終了後も個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱うものとする。

誓 約 書

富山県国民健康保険団体連合会
理事長 森 雅 志 殿

私は、以下の事項を厳守することを誓約します。

記

- 1 参加事業で知り得た個人情報を含む秘密情報に関して、連合会の許可なく発表、公開、漏洩、利用しないこと。
- 2 事業終了後も同様に、業務上知り得た個人情報を含む秘密情報を連合会の許可なく発表、公開、漏洩、利用しないこと。
- 3 本会の情報セキュリティ基本方針を遵守すること。

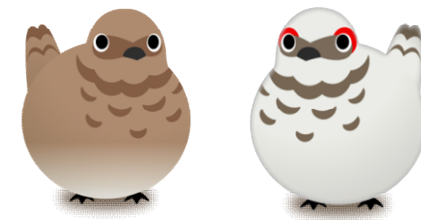
以 上

平成 年 月 日

住 所
氏 名

印

個人情報保護に関する誓約書の提出



受診勧奨事業を担当するらいちょう会会員を対象に
平成26年度から毎年開催

テーマ「健診結果の読み方と保健指導の実際」

[illegible]

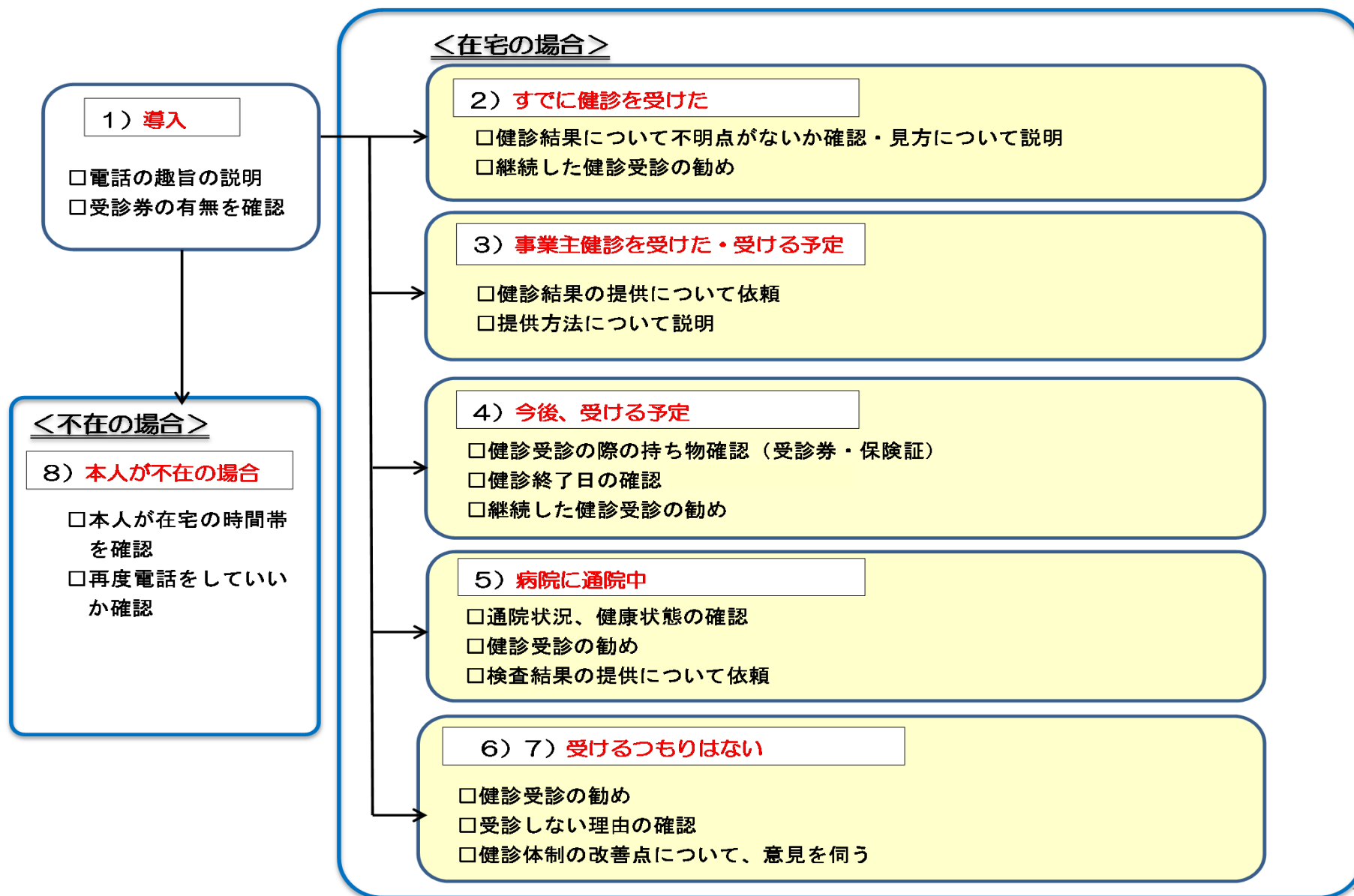
生活習慣病からの
新薬速折導入患者の減少に向けた提言
～CKD(慢性腎臓病)の発症予防・早期発見・重症化予防～

平成28年3月
CKDの予防・早期発見・重症化に向けた提言 作成委員会

日本腎臓学会 誌



受診勧奨フロー図



特定健診受診勧奨マニュアルの作成

B市特定健診受診勧奨マニュアル（対応参考例）

1) 導 入

〇〇さんのお宅でいらっしゃいますか？
私は、B市健康センターから依頼され、国民健康保険の特定健診のご案内をしています保健師の〇〇と申します。
〇〇さんは、ご在宅でいらっしゃいますでしょうか？
少しだけお時間を頂けますか？
健診の受診券は6月中旬に黄色の大きい封筒（A4版）で案内してありますし、8月中旬に受診勧奨の緑色のハガキもお送りしてありますが、〇〇さんは今年度健診を受けられましたか？
B市ではぜひ受診して頂きたいとお電話をしてお勧めしているところです。

がん健診等との混同があるため、身体測定、採血、検尿などを実施している健診との説明必要かも。

2) すでに健診を受けた

ありがとうございます。健診結果について不明な点などありませんか？
（健診結果の見方について説明する）
保健師が健診結果を確認し、必要な場合はB市の健康教室や相談会にお誘いしたりすることができます。健診は、毎年受けることで自分のからだの変化に気づくことができます。ぜひ、今後も毎年健診を受けてくださいね。

3) 事業主健診を受けた・受ける予定

承知しました。
それでは、職場での健診結果をご提供いただくことは可能でしょうか？
ご提供いただければ、特定健診を受診したことになりますので、保健師が健診結果を確認し、必要な場合はB市の健康教室や相談会にお誘いしたりすることができます。
ぜひ、ご協力をお願いします。（提供していただける場合：「後日、B市役所市民課から、連絡させていただきます」と伝える）

4) 今後、受ける予定

ありがとうございます。
受診券をお持ちでしょうか。特定健診を受ける際には、受診券と保険証が必要になります。
健診は、10月31日まで受けることができますのでよろしくお願いします。
受診券がないようであれば再発行いたしますので、おっしゃってください。
（再発行の場合：郵送するので、前の受診券が見つかった時は、前の分を破棄してください）
健診は、毎年受けることで自分のからだの変化に気づくことができます。
ぜひ、今後も毎年健診を受けてくださいね。

5) 病院に通院中と言われた場合

差支えがなければ、どのような病気で通院をしているのか教えていただければよろしいでしょうか？今のお体の調子はいかがですか？
病院にかかっておられる方でも、特定健診は全員対象となります。主治医の先生とご相談してぜひ受けてください。
特定健診を受診していただくと、保健師が健診結果を確認し、必要な場合はB市の健康教室や相談会にお誘いしたりすることができます。

6) 受けるつもりはない（過去に受診歴のない人）

B市では、国民健康保険に加入されている皆様の健康づくりにお役立ていただくために健診をしています。
ご自分の体の状態を知っていただくためにも、ぜひ1年に1回は健診を受けていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
（受けない理由について聞く）
今後、健診を受けやすくするための参考にしたいので、もしよろしければ、健診がどのような体制であれば受けやすいか、ご意見をお聞かせいただけますか。
お忙しいところありがとうございました。失礼します。

7) 受けるつもりはない（過去に受診歴のある人）

〇〇さんは、一番最近では、〇〇年に健診を受けておられますよね。
健診は継続して受けるとご自分のからだがかどのように変化しているかより知ることができます。ぜひ1年に1回は健診を受けていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
（受けない理由について聞く）
今後、健診を受けやすくするための参考にしたいので、もしよろしければ、健診がどのような体制であれば受けやすいか、ご意見をお聞かせいただけますか。
お忙しいところありがとうございました。失礼します。

8) 本人が不在の場合

（家族に対して）
いつ頃だったら、自宅にいらっしゃいますか？
その頃お電話してもよろしいでしょうか？
（聞いておきますということだったら）
是非 毎年健診を受けることによって体の状態がわかりますので、健診を受けられますようお願いください。
よろしくお願ひします。

※留守番電話に繋がった場合：原則、B市健康センターから依頼され電話している保健師であること及び、特定健診受診勧奨の案内で、電話をしたことを伝える。

※かかってきた電話は、原則取らない。間違ってしまった場合は、内線で1階健康センター事務所へ転送する。

特定保健指導利用勧奨マニュアルの作成

A 市保健指導利用勧奨マニュアル（対応参考例）

導 入

〇〇さんのお宅でいらっしゃいますか？
〇〇さんは、ご在宅でいらっしゃいますでしょうか？
私は、A 市健康センターから依頼され、今年健診を受けられて保健指導の対象となられた方に、そのご案内をしております保健師の〇〇と申します。
少しだけお時間を頂けますでしょうか？
保健指導の利用券は、〇月に水色の封筒でご案内してあります。【市民課から2週間前頃に発送されている予定。積極的支援（ピンク）、動機付け支援（黄色）の案内チラシも同封されている】
健診結果で、気になっていらっしゃることはございませんか？
昨年（前回）の健診と比べてどうでしたか？
先生から何か言われましたか？
ご自身はそのことについてどうお考えでしょうか？
A 市健康センターではぜひ保健指導を受けて頂きたいと全員の方に、お電話をしてお勧めしているところです。

今後、受ける予定

ありがとうございます。
本日予約も出来ますが、予約されますか？
（動機付け…メタボ講座または個別相談、積極的…個別相談を勧める）
予約をする場合：予約表を持ってきますのでこのままお待ちいただけますか？
いつ頃がよろしいでしょうか？
後で予約する場合：今後、予約をされる時は、A 市健康センター1 2－3 4 5 6 にお願います。
よろしくお願いします。

本人が不在の場合（本人の在宅時間聴取、出来れば本人に伝える。←家族に再度電話をかける旨伝える）

（家族に対して）
是非 保健指導を受けられるようお伝えください。
よろしくお願いします。

以前受けてすでに実行中もしくは、受けた

それは、良かったです。
どのような取り組みを、いつ頃からしていらっしゃるのかお聞きしてもよろしいですか？
お体の調子はいかがですか？
（その効果を確認し、取り組み続けていることを賞賛する。
無理な方法をとっていたり、続けていることが困難と感じている場合や、今回再度対象者になったので、もう一度再確認のために受けてみるよう勧める。）
＜受けたくないようであれば＞
もし、何か気になる点がございましたら、いつでもご相談ください。

病院に通院中と言われた場合

そうですか。
お体の調子はいかがですか？先生からどのようなお話がありましたか？
もし、何か気になる点がございましたら、いつでもご相談ください。

受けるつもりはない

健康センターでは、皆様の健康づくりにお役立ていただくためにご利用をお勧めしております。
自己負担がなく無料で受けられますので、もし今後受けたいと思われましたら、いつでもご連絡ください。
（受けない理由について聞く）
今後、保健指導を受けやすくするための参考にしたいので、もしよろしければ、どのような体制であれば受けやすいか、ご意見をお聞かせいただけますか。
お忙しいところありがとうございました。失礼します。

留守番電話になった場合：A 市健康センターからの電話であったことを伝える。

説明(マニュアル作成)のポイント！

導入

市町村等から依頼されたことを伝える。
自分の名前と保健師であることを伝える。



今後、受ける予定

(利用勧奨) 本日予約できることを伝える。
予約表に必要事項を記入。

(受診勧奨) 持ち物の確認(受診券、保険証等)
受診券を紛失した場合は再発行について説明する。

本人が、不在の場合

帰宅時間を確認。勧奨時間内の帰宅であれば再度電話をかけることを伝える。勧奨時間外であれば、家族に特定健診・保健指導を受けるよう本人に伝えていただくことを依頼し、終了する。



以前受けてすでに実行中もしくは、受けた(利用勧奨)

取組内容を聞きながら、取り組み続けていることを賞賛する。

病院等に通院中と言われた場合

(利用勧奨) 医師からの内容を聞く。

気になることがあればいつでも相談くださいと伝える。

(受診勧奨) 特定健診は通院中の方も全員対象となることを伝える。

主治医と相談してぜひ受けてくださいと伝える。

受けるつもりはない

受けない理由を聞く。どのような体制であれば受けるか聞く。

留守番電話になった場合

市町村から特定健診受診勧奨等で電話をしたことを伝える。

記録表見本

| No | 地区 | 証番号 | カナ氏名 | 性別 | 電話番号 | 年齢 | 受診日 | 未受診 期間 | 健診受診の有無 | 未受診 の理由 | 提供 | 再発行 | 備考 | 電話実施日時 | 電話対応者 または、不在 |
|----|----|-----|------|----|------|----|-----|-----------|----------|------------|----|-----|----|--------|-----------------|
| 1 | | | | 男 | | 66 | 25 | | | | | | | | |
| | | | | | | | 26 | | 受けた・予定 | | | | | | |
| | | | | | | | 27 | | 受けない・検討中 | | | | | | |
| 2 | | | | 女 | | 64 | 25 | | | | | | | | |
| | | | | | | | 26 | | 受けた・予定 | | | | | | |
| | | | | | | | 27 | | 受けない・検討中 | | | | | | |
| 3 | | | | 男 | | 48 | 25 | | | | | | | | |
| | | | | | | | 26 | | 受けた・予定 | | | | | | |
| | | | | | | | 27 | | 受けない・検討中 | | | | | | |
| 4 | | | | 男 | | 1 | 25 | | | | | | | | |
| | | | | | | | 26 | | 受けた・予定 | | | | | | |
| | | | | | | | 27 | | 受けない・検討中 | | | | | | |

記録表について

- ・受診日：受診済みの場合、受診日を記入する。
- ・未受診期間：受診済みの年度に○がついています。
- ・健診受診の有無：該当するものを○で囲む。
- ・未受診理由：下記の一覧から選んで、番号を記入する。

【未受診理由一覧】

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 忘れていた | ⑧ 治療中・入院中 |
| ② 職場で受けた・受ける予定 | ⑨ 健康に自信がある |
| ③ 人間ドッグを受けた・受ける予定 | ⑩ 仕事が忙しい |
| ④ かかりつけ医で受けた | ⑪ 健診を受ける方法がわからない |
| ⑤ 病気をみつけるのが怖い | ⑫ 待ち時間が長い |
| ⑥ 健康に関心がない | ⑬ やせているから関係ない |
| ⑦ 面倒くさい | ⑭ その他 |

- ・提供：事業主健診等の健診結果を提供していただける場合は、○を記入する。
- ・再発行：受診券の再発行を希望される場合は、○を記入する。
- ・電話実施日時：電話をかけた日時を記入する。
つながったら、日付を○で囲む。
- ・電話対応者：電話のつながった日付と対応者（本人、家族等）を記入する。
留守番電話に伝言を残した場合も、日時と留守電伝言などを記載する。

事業実施スケジュール

6～7月頃 2者打合せ

（市町村・国保連合会）

7～8月頃 3者打ち合わせ

（市町村・国保連合会・
らいちょう会）

8月下旬～ 受診勧奨開始

9月上旬 担当者研修会

終了後 実施結果の取りまとめ

（らいちょう会）

事後連絡会

（市町村・国保連合会・らいちょう会）

実施状況



| 年度 | 実施 保険者 | 健診受診勧奨 | | | 保健指導利用勧奨 | | |
|----|-----------|------------|-------------|---------------------|-------------|-------------|---------------------|
| | | 対象者 (人) | 電話回数 (回) | 保健師 延活動人数 (人) | 対象者 (人) | 電話回数 (回) | 保健師 延活動人数 (人) |
| 24 | A市 | 850 | 1,556 | 30 | | | |
| 25 | B町 | 1,063 | 1,147 | 24 | | | |
| | C町 | | | | 136 | 169 | 4 |
| 26 | D村 | 264 | 423 | 8 | | | |
| | E市 | | | | 327 | 629 | 22 |
| 27 | E市 | | | | 379 | 647 | 23 |
| | F市 | 1,049 | 1,403 | 19 | | | |
| 28 | F市 | 1,427 | 2,251 | 31 | | | |
| | G町 | 1,734 | 1,785 | 32 | | | |
| 29 | G町 | | | | 事業結果集計中 | | |
| | H市 | | | | 事業実施中(3月まで) | | |

E市特定保健指導利用勧奨事業の実施状況

E市の状況及び特徴

人 口: 4万8761人

世帯数: 1万6,220世帯

高齢化率: 28.8% 国保被保険者数: 10,171 (20.8%)

(65～74歳が44%、40～64歳が34%、39歳以下が21.5%)

産業構成: 第2次産業35.5%と県・国と比較して高い。

平均寿命、健康寿命: 国や県に比べやや高い。

死亡の原因疾患

がん(30.7%) 心臓病(10.3%) 脳疾患(9.6%)

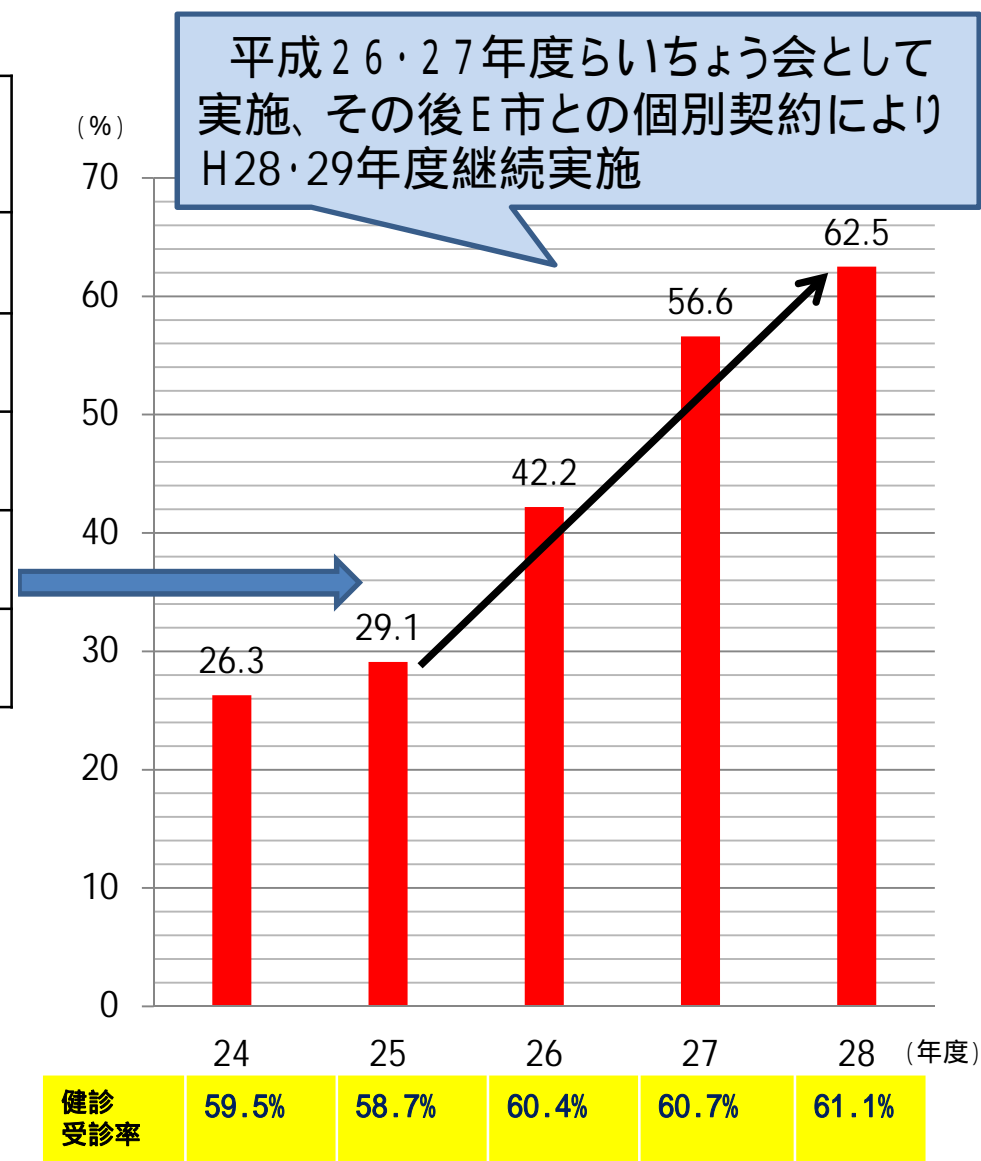
早世死亡の割合は国や県に比べ低い。



平成27年E市第1期データヘルス計画より

特定保健指導終了率の推移

| 年度 | 対象者 (人) | 終了者 (人) | 終了率 (%) |
|----|------------|------------|------------|
| 24 | 525 | 138 | 26.3 |
| 25 | 550 | 160 | 29.1 |
| 26 | 531 | 224 | 42.2 |
| 27 | 519 | 294 | 56.6 |
| 28 | 480 | 300 | 62.5 |



国保連合会資料(平成24年度 = 平成26年1月時点速報値、平成25年度 = 平成26年10月時点速報値、平成26年度 = 平成27年11月時点速報値、平成27年度 = 平成28年11月時点速報値、平成28年度 = 平成29年11月時点速報値)²¹



特定保健指導利用勧奨記録表(使用例)

| 地区 | 漢字氏名 | カナ氏名 | 生年月日 | 年齢 | 指導区分 | 電話番号 | H26保健指導・電話状況 | H27保健指導 | H27保健指導 | H27保健指導 | 未利用理由 | 電話した日(不在も記入) | 備考 | 初回面接予約日 |
|----|------|------|------|----|--------|------|-------------------|---------|---------|---------|-------|--|---|-------------------|
| | | | | 62 | 積極的支援 | | #N/A | 受けた | 受けない | わからない | | 1/11 電話に23分しかかきません(留守番電話) 1/24 ⑦ 14:40 1/25 12/10 30分 | | |
| | | | | 55 | 積極的支援 | | #N/A | 受けた | 受けない | わからない | | 1/11 不在 15:25 1/25 15:10 ⑦ 1/24 ⑧ 14:40 1/25 8:10 ⑧ | | |
| | | | | 64 | 積極的支援 | | #N/A | 受けた | 受けない | わからない | 3 | 1/11 | 毎日、犬7匹の散歩で4km程度歩いている(犬30分程度) | |
| | ✓ | | | 62 | 動機付け支援 | | 11/19予約 | 受けた | 受けない | わからない | 3 | 1/11 不在 1/11 18:15 | 体重7kg ↓ (野菜と果物を食べる) お米の量を減らす お肉の量を減らす | |
| | ✓ | | | 67 | 動機付け支援 | | 診療所の医師から指導を受け、実践中 | 受けた | 受けない | わからない | 10 | 1/11 | 歩行は、毎日30分程度行っている | |
| | | | | 68 | 動機付け支援 | | | 受けた | 受けない | わからない | 5 | 1/11 | 雨天以外は30分程度ウォーキング 歩行量を増やそう、歩行量を増やそう | |
| | | | | 71 | 動機付け支援 | | 12/8 11:00予約 | 受けた | 受けない | わからない | 3 | 1/11 不在 17:00 1/24 | | |
| | | | | 74 | 動機付け支援 | | 12/8 10:30予約 | 受けた | 受けない | わからない | | 1/11 5-6回かけ 1/24 14:30 | もともと35分 1/24 14:30~ | 12/4 14:30~ |
| | | | | 67 | 動機付け支援 | | 0 | 受けた | 受けない | わからない | | 1/11 | 車の仕事で、時間的余裕ができていない 9:30~11:00の間に歩く | 1/27 10:30~10:30分 |
| | | | | 67 | 動機付け支援 | | #N/A | 受けた | 受けない | わからない | | 1/11 | 1/27 10:30~10:30分 | |
| | ✓ | | | 40 | 動機付け支援 | | #N/A | 受けた | 受けない | わからない | | 1/11 | 仕事で、時間的余裕ができていない 17:30~18:30(AM) | |
| | | | | 66 | 動機付け支援 | | 0 | 受けた | 受けない | わからない | 10 | 1/24 ⑦ 14:25 1/25 | 健康のためには歩きたい(理由がわからない) 時々、歩行量の目安を自分で決めて歩く | |
| | | | | 66 | 動機付け支援 | | 0 | 受けた | 受けない | わからない | 8 | 1/11 | | |
| | | | | 60 | 動機付け支援 | | 0 | 受けた | 受けない | わからない | | 1/11 | 1/27 10:30~10:30分 | |
| | | | | 69 | 動機付け支援 | | 11/19 お腹すっきり講座予約 | 受けた | 受けない | わからない | | 1/11 本人不在 1/24 14:40 ⑦ | 1/25 不在(留守番電話に同伴と伝えている) | |

22

利用率向上の要因



国保連合会

1. 関係機関との連絡調整等による連携
(事業実施における共通認識を図るため市町村、らいちょう会との2者、3者での頻回な打ち合わせ等の実施)

らいちょう会

1. 実施できる在宅保健師の確保 (20時頃まで対応可能な会員の確保)
2. 毎月タイムリーな利用勧奨、最大3回の電話勧奨の実施
3. 事前研修会の受講 (勧奨だけでなく、電話による適切な保健支援の実施)
からだのメカニズムを踏まえた健診経年データの読み取りによる結果の見方等のアドバイス
4. E市の健診・保健指導体制等の理解把握 → 住民へ相談実施場所等の正確な情報提供

E市

1. 住民主体の保健指導の実施
 - ・利用者の都合に合わせた日程・時間・場所の確保と家庭訪問等による柔軟な対応
 - ・保健指導実施日の定例化、指導時間を18時まで延長、地区毎の相談(指導)日の設定
2. あらゆる機会を踏まえた利用勧奨と保健指導(がん検診会場での待ち時間を利用した保健指導)
3. 電話勧奨前の事前準備
 - ・封筒と一体化した案内チラシに保健指導実施日程を記載し作成(封筒を開けなくても予約ができるよう工夫)し配布
4. かかりつけ医との連携により、主治医からの保健指導のすすめ
5. 受けたくなる保健指導(住民が何回も受けたくなる保健指導)を目指して
 - ・初回か継続利用者であるか等対象者の状況やニーズを踏まえた個別保健指導の実施
 - ・研修会の受講等による保健指導の質の担保
 - ・保健指導教材の工夫によるわかりやすい保健指導の実施

3者の話し合いにより、E市の実態に合わせた独自の勧奨マニュアルを作成することによって、事業内容等の共通認識を十分に図り、それぞれがその役割をきちんと果たすことによって利用率が向上したのではないかと。

よく飲まれている飲み物に含まれる糖分の量



保健指導教材の工夫例

食品に含まれる塩分量の目安



年末・年始によく食べる80kcalの食品量と運動量の目安



特定健診受診率及び保健指導実施率の向上に向けて

1. 夕方以降の勧奨時間の設定や、本人が在宅している時間にかけなおす等柔軟な対応による直接の受診勧奨の実施。
2. 電話勧奨時の個別健康相談等の実施により、対象者の疑問や求めていることについて、専門的なアドバイスを丁寧に行う。
3. 住民に対してあらゆる機会を利用した、継続的な受診等の声かけを行う。
4. 健診等の必要性、意義についてからだのメカニズムを踏まえたわかりやすい説明を行う。
5. 住民主体の保健指導の実施等により効果が見られ、住民から住民に口コミで保健指導の成果が伝えられることによって、実施率向上につながる。
6. 保険者毎の取り組みだけでなく、県内の実施状況や課題等を県・市町村健診・保健指導機関、保険者協議会その他各関係機関が情報共有することによって連携し、それぞれの立場で受診率・利用率の向上に結びつく取り組みを実施する。



地域全体に1年に1回は健診を受けて「自分の健康は自分で守る。」という意識づくりを浸透させ、受診の習慣化を図るという住民を巻き込んだ取り組みが重要。



ご清聴ありがとうございました。